

はじめに

会津若松市のごみの現状と目標

令和2年度の会津若松市の燃やせるごみの排出量(トン/年)は、39,665トンであり、そのうち事業系燃やせるごみの排出量(トン/年)は13,235トンであり、燃やせるごみの排出量の約33%を占めています。

また、事業系燃やせるごみの展開調査や組成分析では、燃やせるごみにリサイクル可能な資源物や産業廃棄物が混入している実態が分かっています。

このことから、事業者の皆様には事業系ごみの減量化、資源化及び適正処理をより一層進めていただくために、本書「事業系ごみガイドブック」を作成いたしました。

各事業者におかれましては、更なるごみの減量と資源化にご協力ください。



令和2年度 実績値	
燃やせるごみの排出量	39,665トン
生活系	事業系
26,430トン (約67%)	13,235トン (約33%)
ごみ処理原価6億8千万円/年	



令和7年度 目標値	
燃やせるごみの排出量	29,983トン
生活系	事業系
20,739トン	9,244トン
必要削減率 約21.5%	必要削減率 約30.2%

「ごみ」と「資源物」を区分していますか？

右の写真は、会津若松地方広域市町村圏整備組合環境センターに搬入された本市の事業系燃やせるごみの展開調査の様子です。

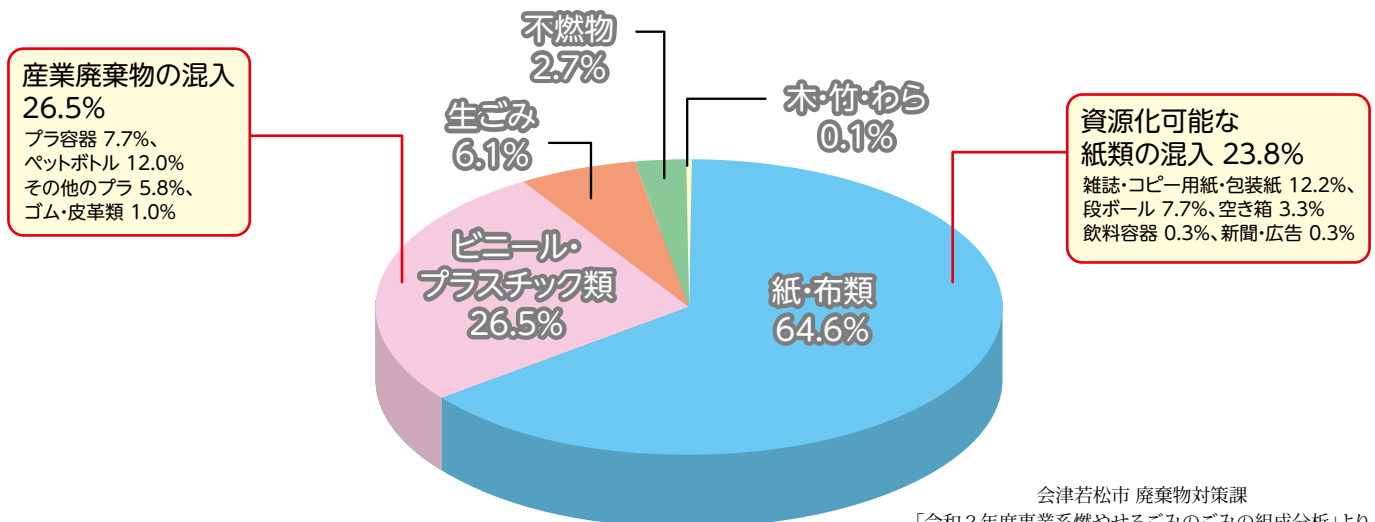
下記のグラフは、組成分析で判明した事業系燃やせるごみの内訳であり、資源化可能な紙類が23.8%混入していることが判ります。

また、**産業廃棄物に該当するもの(プラスチック類、ゴム・皮革類)**が26.5%混入しています。

適正な分別を行うことで、ごみの減量化と資源化にご協力をお願いします。



展開調査の状況



会津若松市 廃棄物対策課

「令和2年度事業系燃やせるごみのごみの組成分析」より

